

平成28年9月吉日

関係各位

岐阜県立可児高等学校  
校長 榎部 祐成

月例授業公開および主権者教育推進事業の報告会について（開催案内）

秋涼の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では10月の授業公開日を下記のように設定いたしました。今回は、本校が考えるアクティブラーニング（AL）型授業のポイントがより明確に伝わる授業をご覧いただけるよう、また、授業研究会を通してAL型授業に対する理解をいっそう深めていただけるよう準備を進めております。あわせて、本校が県教育委員会から研究指定を受け、地域と連携しながら進めている「主権者教育推進事業」の途中経過も報告する予定ですので、ぜひこの機会にご来校くださいますよう、ご案内いたします。

加えて、本校では上記「主権者教育推進事業」の一環として、地元諸機関・諸団体等との協働により、地域課題解決型キャリア教育（通称：エンリッチ・プロジェクト）を推進しておりますが、今年度上半期までの成果を報告する会が、地元のコーディネート団体「NPO縁塾」の主催により、本校の授業公開とあわせて開催されることとなりました。双方をご覧いただくことにより、ALについて高校と地域がどのように役割を果たしあっていけばよいのか、ヒントを得ていただけるものと考えておりますので、あわせてご案内いたします。

記

日 時	平成28年10月14日（金）午前10時～午後4時30分
日 程	10:00～10:30 オリエンテーション 10:40～11:30 授業見学①（第3限） 11:40～12:30 授業見学②（第4限） 12:30～13:20 ランチミーティング（担当者がご質問にお答えします） 13:30～14:20 授業見学③（第5限） 14:30～15:20 授業研究会（第6限） 15:30～16:20 主権者教育推進事業 発表会（第7限）
申込み	1) まず、電話で担当者（教頭）に打診をお願いします。 2) 折り返し、参加の可否をご連絡します。 3) 参加が承認された場合、FAX申込書（別紙）を送信していただきます。

[参考] 地域課題解決型キャリア教育の報告会（…詳細は左記報告会の案内をご覧ください）

行事名	秋のエンリッチ報告会 2016
日 時	平成28年10月14日（金）午後5時～午後7時30分
場 所	可児市総合会館 5階 大ホール（可児市広見1丁目5番地：可児市役所本庁舎南）
主 催	NPO縁塾
備 考	この報告会には別途の申込みが必要です。申込み方法を含め、詳細は9月20日以後、「ハトブキ山カフェ」のホームページ（↓）で公開される予定です。 <a href="https://hmcafe.shopinfo.jp/">https://hmcafe.shopinfo.jp/</a>

－ 以 上 －

担当： 教頭 日江井 孝浩  
〒509-0241 岐阜県可児市坂戸987番地2  
Tel 0574-62-1000 Fax 0574-63-6759

## 平成28年 10月14日 重点公開授業 一覧表 (教科別)

No.	教科	クラス	授業者	科目	場所
A	国語	1年1組	安藤 理絵	国語総合	1年1組 教室
B	国語	2年4組	川原 正史	現代文	2年4組 教室
C	地歴・公民	1年7組	吉田 浩幸	現代社会	4 C 講義室
D	数学	1年4組	青木 孝輔	数学 I	4 B 講義室
E	数学	2年1組	松井 真也	数学 B	3 B 講義室
F	理科	1年7組	箕浦 涼	化学基礎	化学実験室
G	理科	2年6組	浦崎 太郎	物理基礎	物理実験室
H	保健体育	1年1組	種田 有城	保健	視聴覚室
I	英語	1年4組	鈴木 ひろ子	英語表現 I	4 C 講義室
J	家庭	1年1組	吉野 典子	家庭基礎	1年1組 教室

### 【備考】

- ・ 上記の各授業は、次頁以後に工夫点等が記されていますので、ご覧ください。
- ・ 上記の授業は、第6限（14:30～15:20）に教科別の授業研究会を実施します。
- ・ **上記の各授業をどの時間に実施するかは未定です。（現在、時間割調整中）**  
→ 確定し次第、本校ホームページで発表します。
- ・ 都合により、担当者や内容等が変更になる場合があります。予めご了承ください。
- ・ 当日の第3～5限は、上記以外の授業もすべて公開です。

### 【注意事項】

- ・ 授業の撮影はご遠慮ください。どうしても必要な場合は、前日までに協議の上、本校教頭より許可を受けてください。
- ・ 撮影した静止画や動画を無断でインターネット上に投稿することは禁止します。どうしても必要な場合は、投稿前に本校教頭より承認を受けてください。

No.	授業者	クラス	科目	場所
A	安藤 理絵	1年1組	国語総合（現代文）	1年1組
内容	評論の文章構成をつかむ			
工夫点	<p>全2時間の計画：<u>パワーポイント</u>と<u>実物投影機</u>を使用して効率よく進める。</p> <p>1時間目：クラスをA B二つに分けて記述問題A Bを解き、解説文を作成する。</p> <p>狙い：① 記述問題の「型」の作成の手順を学習する。 ② 解説を参考にして記述問題の考え方を学ぶ。</p> <p>2時間目：解説文をもとにグループで説明する。文章全体を俯瞰する設問Cを解く。</p> <p>狙い：① 評論の文章構成の典型その1（主張＝例、引用、比喩）について教師の説明を聞き、今回の文章にあてはめて考える。 （今回の記述問題A Bはそれぞれ主張の具体例となっている。）</p>			

No.	授業者	クラス	科目	場所
B	川原 正史	2年4組	現代文	2年4組
内容	論理的文章のクリティカル・リーディング			
工夫点	<p>テキストからの「客観的な情報の取り出し」に焦点をおいた学習をレディネスとし、引用や表現の正確性、論理的な思考の確かさなどを理解・評価したり、自分の知識や経験と関連づけて建設的に批判したりする力、いわゆるクリティカルリーディングへと踏み込む授業として設定した。主な工夫点は以下の通りである。</p> <p>① 文章の論理性を吟味するための視点を示し、読みの足掛かりとする。</p> <p>② 学習内容を既習範囲にフィードバックさせることにより、形成的評価の機会を保障するとともに、学習内容の転移・定着を図る。</p> <p>③ 一人読みから小集団での相互援助活動、さらに全体討議へと、生徒一人一人の読みを深化・統合するための言語活動を取り入れる。</p> <p>④ 板書をパワーポイントで行うことにより、多くの情報を迅速、かつ視覚的に伝達する。</p>			

No.	授業者	クラス	科目	場所
C	吉田 浩幸	1年7組	現代社会	4C講義室
内容	社会保障と国民福祉 社会保障制度の将来像を考える			
工夫点	<p>① 日本の社会保障制度の仕組みを理解させた上で、データを与え、それを読解させる。その際、まず個人で資料から何が読み取れるかを考えさせ、そこででたアイデアをグループで共有する。</p> <p>② データから分かったことをもとに、日本の社会保障制度が将来的に持続可能かどうかを、考えていく。</p> <p>③最後に、社会保障制度が将来世代にとっても意味のあるものにするためにはどのような改善が必要かをテーマにグループ討論を行い、各グループの意見を発表して、クラス全体で共有する。</p>			

No.	授業者	クラス	科目	場所
D	青木 孝輔	1年4組	数学 I	4 B 講義室
内容	与えられている条件から、余弦定理を用いて辺の長さや角の大きさを求める。			
工夫点	<p>中学校では、2辺とその間の角が分かれば、三角形が決定されることを学んだ。そこで本時の目標は、余弦定理や正弦定理を用いて、与えられた条件から残りの辺の長さや角の大きさを求めることであり、習得型授業である。</p> <p>●工夫した点</p> <p>①授業前の講義は、自作プリントを作成し、要点を絞り簡潔に行う。</p> <p>②自らの力で問題を解ききることが重要であり、演習の時間を多くとる。 (自らの頭で考え、問題にアプローチしていく思考過程もA Lの一つである。)</p> <p>③演習はグループ形式で行う。しかし、グループで行う目的は協力するためではなく、個人で解ききるためのヒントを得る場を提供するだけである。</p> <p>④授業で扱えなかった問題については宿題を課し、家庭学習の重要性を強調しながら、学習時間を確保する。</p>			

No.	授業者	クラス	科目	場所
E	松井 真也	2年1組	数学B	3B講義室
内容	遺伝と数列（マルバアサガオの遺伝を考える）。			
工夫点	<p>生物の授業においてメンデルの法則を説明する際、普通は縦横に配偶子の遺伝子型を配置したマトリックス図を用いる。マトリックス図は非常にわかりやすい反面、雑種第n代のnが増えるとマトリックスがとても煩雑になるという欠点がある。</p> <p>そこで本時間では、雑種第n代の遺伝子型の分布を、漸化式を用いて調べることにする。実際の現象を数学のモデルにし、数学的に解析するという活用型の授業を行う。モデルには、中間雑種がわかりやすいマルバアサガオの花の色を取り上げる。</p>			

No.	授業者	クラス	科目	場所
F	箕浦 涼	1年7組	化学基礎	化学実験室
内容	化学反応式と量的関係			
工夫点	<p>発生させる気体の体積を生徒たちに設定させ、そのために必要な試料量を化学反応式から理論的に逆算させる。実験後、理論値と実験値を比較し、値のずれの原因について考察させることで、定量実験の基本を学ぶ。工夫点は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 生徒自身に実験方法の一部を計画させることで、主体的な学習活動につなげる。</li> <li>② 特殊な器具を要さず、誰でも簡単にできるような実験とした。</li> <li>③ パワーポイントを用いて、実験操作を示すことにより、効率よく視覚的に伝える。</li> <li>④ 4人1組のグループを活動単位とし、実験・議論させることで協働的な学習とする。</li> </ol>			

No.	授業者	クラス	科目	場所
G	浦崎 太郎	2年6組(理系)	物理基礎	物理実験室
内容	剛体に働く力 …「滑るが先か？傾くが先か？」			
工夫点	<p>同単元の最終版に登場する、比較的難度の高い内容。摩擦のある水平面上に置いた剛体に対して水平方向に力を加えるとき、作用点の高さによって「傾く前に滑る」場合と「滑る前に傾く」場合があり、問題の設定毎に、どちらが先に起こるかを判定できるようになるのが本時の目標。工夫点は以下のとおり。</p> <p>① ごく簡単な実験を導入するにより、イメージを膨らませる。…これもA Lの一つ</p> <p>② ICTの効果的な活用により、要点を短時間で視覚的に伝えつつ、思考や交流に充てる時間を確保する。</p> <p>③ どの生徒も目標を達成できるよう、グループで交流できる機会を十分に保障する。</p> <p>④ 各生徒が目標を達成できたか見届けられるよう、最後に類題で確認テストを行う。</p>			

No.	授業者	クラス	科目	場所
H	種田 有城	1年1組	保健	会議室
内容	心の健康と自己実現			
工夫点	<p>人間の欲求の高次なものの一つとして、自分自身を高め、もてる力を最大限に発揮したいという自己実現の欲求があり、また、その充足が精神の健康と深くかかわっていることを理解できるようになるのが本時の目標。以下工夫点。</p> <p>①ワークシートを使用し、今の自分ではない自分をイメージし、自己実現をするためにどういったプロセスを踏めば良いか考える。</p> <p>②グループで交流できる機会を十分に保障する。</p>			

No.	授業者	クラス	科目	場所
I	鈴木 ひろ子	1年4組	英語表現 I	4C講義室
内容	日本人の一般的な特徴について、3つの文を書いてみよう。 分詞を用いて英作文をしてみよう。			
工夫点	<p>① Listening task では、ペアで答えを確認しながら、聞き取りが正確にできるようにする。間違えやすい音の繋がりなどについても認識する。</p> <p>② 英作文では、まず自分の力で書いてから、お互いに答えを見せ合い、必要なら訂正をする。</p> <p>③ あるテーマについて、3つの文で書く活動をする。文と文の間に論理的な繋がりのあるわかりやすい文を書くことを目標に、お互いに答えを見せ合い、必要なら訂正をする。（自立して学習ができるように促す。）</p>			

No.	授業者	クラス	科目	場所
J	吉野 典子	1年1組	家庭基礎	1年1組
内容	これからの家庭生活 「ワーク・ライフ・バランス」を考えよう。			
工夫点	<p>人生の職業生活と家庭生活を充実させるための働き方、生き方を考えながら、男女が共に豊かに生活するには、ワーク・ライフ・バランスの実現が必要であることを理解させたい。</p> <p>① グループでの話し合いを効率的に行うために、キーワードを設け、ダイヤモンド型に図式化することとした。</p> <p>② 家族・結婚・出産・子育てをたどっていくことを想定し、それぞれの分野での課題を考えていく。家族分野でこの項目を行い、次の保育分野への興味付け関連を図った。</p>			

訪問ご希望の方は、教頭に電話確認の後、本紙に必要事項をご記入の上、FAX送信してください。

岐阜県立可児高等学校 月例授業公開（平成28年10月14日）

# FAX申込書

（FAX送信票は不要です）（秋のエンリッチ報告会に参加ご希望の方は別途お申込みが必要です）

岐阜県立可児高等学校長 様

**10月14日（金）**の月例授業公開への参加を以下のとおり申し込みます。

代表者の連絡先情報	所属					
	住所	〒 - ----- -----				
	電話番号					
	FAX番号					
	当日連絡先(携帯)					
	申込内容	氏名		ご参加の時間帯に「○」をつけてください		
可児高校(午前) 10:00~12:30				可児高校(午後) 13:30~16:20	エンリッチ報告会 17:00~19:30	
代表者						
同行者1						
同行者2						
同行者3						
通信欄						

FAX送信先 → 0574-63-6759（岐阜県立可児高校）